肉片にしてやんな
え!?…
クロノメイが能力者に襲われている
現在 縫はクロノメイへ向けて緊急飛行中だ
区域に入り次第お前達もすぐに出動するように

クロノメイか…
あるとは思っていたが…

っ…
はい!!!

舐めてくれた
ものだ

カーニヴァル
KARNIVAL

KARNEVAL 13

第76譜　緊急事態

緊急警報？
何が起きたの…？
ビ…
全生徒に告ぐ
クロノメイが能力者によって襲撃されている
ただ今より全生徒の緊急避難を開始する
ワッ

生徒はすみやかに各寮内の多目的倉庫に集合せよ
倉庫？
寮の奥にあるデカイ部屋だろ？
何入ってんのかって思ってたけど…
事態は緊急を要する！
各寮官の指示に従い迅速に行動せよ!!
さてと…
おっぱじまったぜぇ？

大宴会だ
ハハ
ザア

行かせるかぁ!!!
ねぇ
誠ちゃん…
倉庫の中にこんなのあるって知ってた…？

国家防衛統括塔
最高技術審議官
時辰だ

改めて
自己紹介しよう
僕は

知らない…
早く下へ降りろ!!
その階段の先に大広間があり
クロノメイ区画外へと繋がる道路と専用の小型機がある!
下で待つ教師に従い脱出するんだ!!

ヴッヴッヴー
どうしたの？
リノちゃん早く…
鵜ちゃん 先行ってて…
え!?
先生!!
弟がっ…
同室の友人が能力者に変わり
襲われて逃げて来たと…
逃げる途中 別の能力者に追われ
今この寮の前にいると
言ってるんですっ…
!!

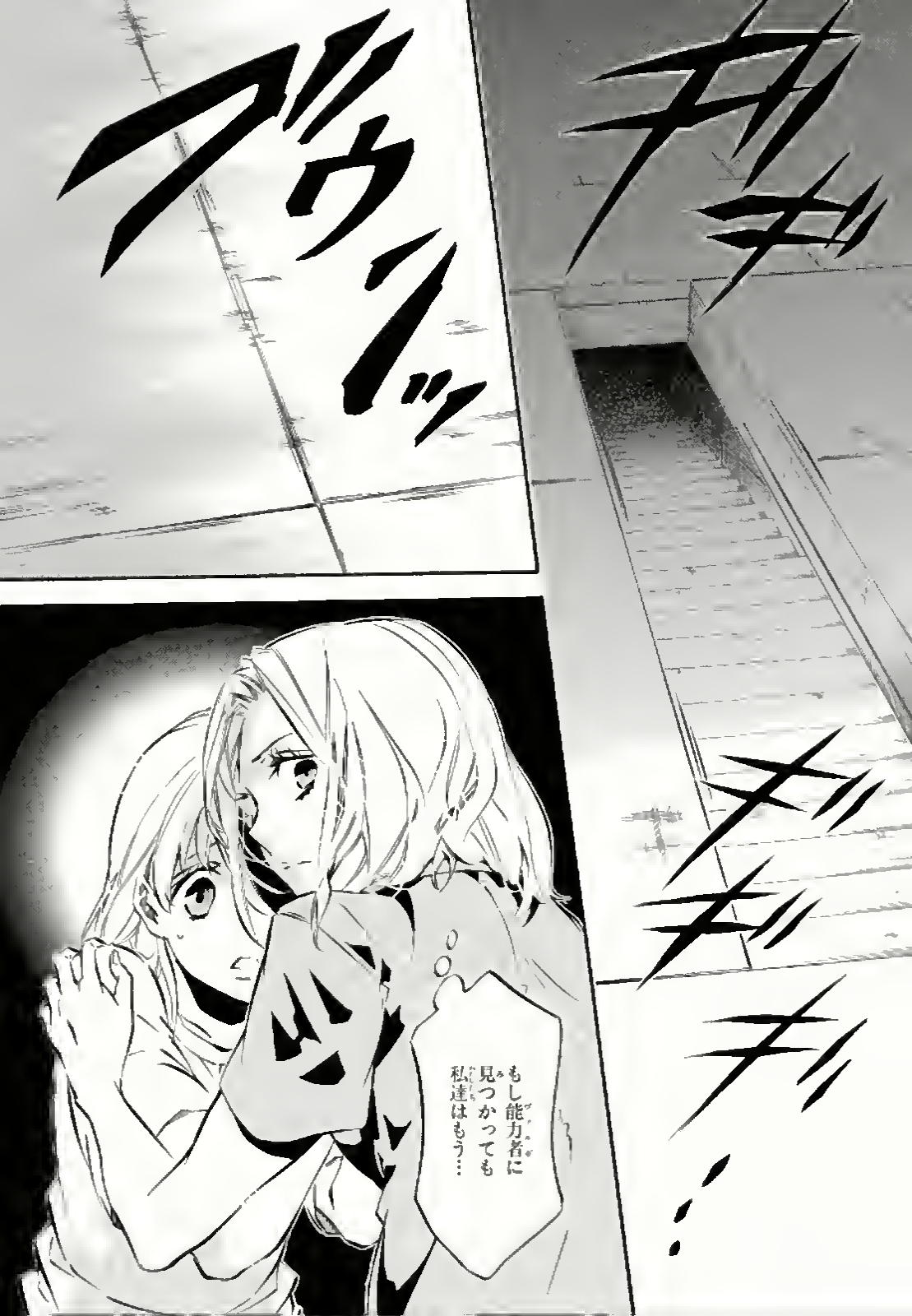
分かった！
俺が確認してくるから
お前は早く地下室へ行け！
一定時間 在籍者の通過がないと
扉が閉まる！
万が一閉まったら
右の石版に手の平を付けろ
指紋認証で開く！
いいな!?

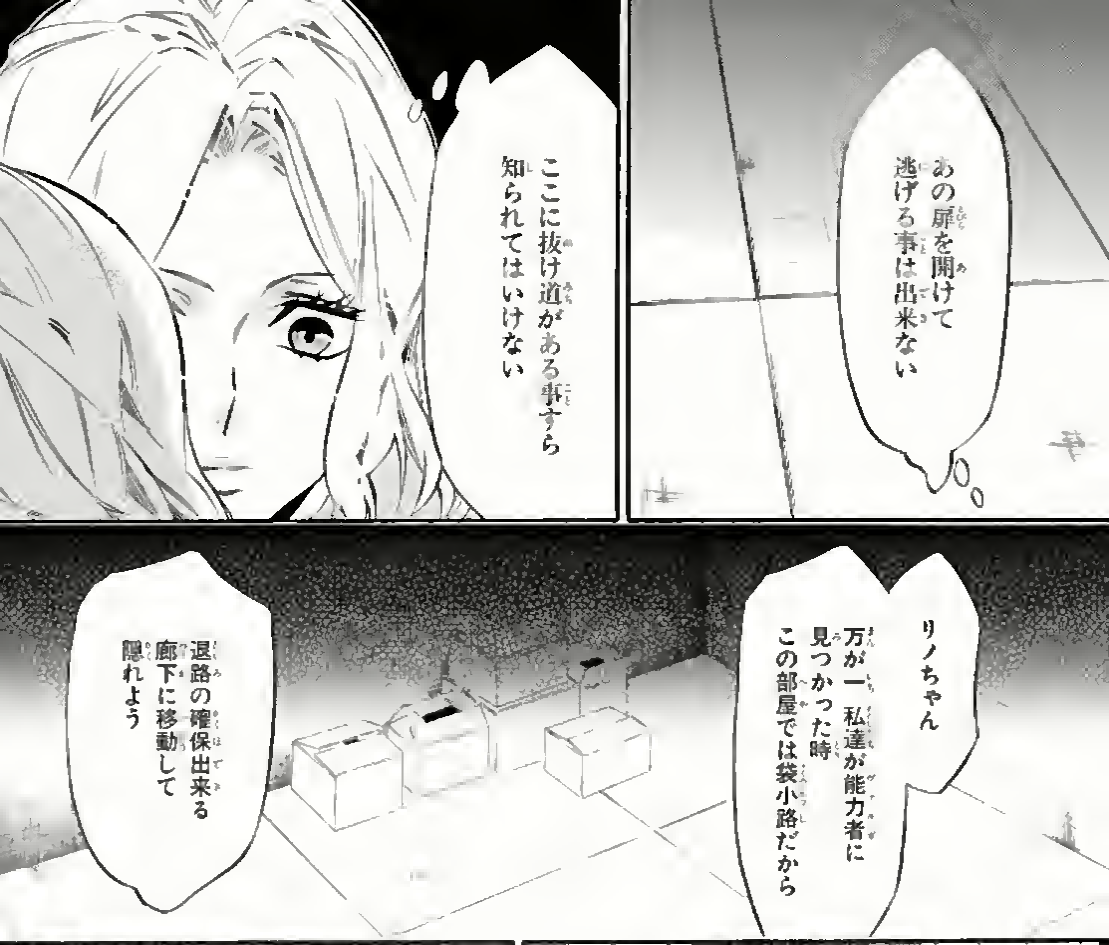
リノちゃん
地下に行こう！
鶴ちゃんっ…
お願い…
お願い！
先に行ってて！
私 先生と弟がここに
来るまで待ってる
そんな…
気持ちは分かるけど
こんな所で一人でなんて
だめだよ！

今は先生の指示に
従って自分の身を
守らなきゃっ…
っ…
穂ちゃん 私ね
弟と二人きりの
家族なの
弟を失ったら
誰もいないの
だからどうしても
置いて行きたくない
――…
うん…うん
分かった…
じゃあ――

私も残る！
!!
だめだよ鴨ちゃんは
先に行って!!
大丈夫だよ！
だって弟くん この京の前に
来てるって言ってたんでしょ？
そしたら先生と
すぐ戻ってくるはず！
ちょっとの間よ！
でもっ…

一人じゃだめでも
二人いればどうにかなる事ってたくさんあるよ！
ありがとう
鴻ちゃん
ありがとう…


ブウン
ブウン
ブウン


あの扉を開けて
逃げる事は出来ない
ここに抜け道がある事すら
知られてはいけない
リノちゃん
万が一 私達が能力者に
見つかった時
この部屋では袋小路だから
退路の確保出来る
廊下に移動して
隠れよう

うん！…
ドア
閉めとこう！
今ここに…
ギギギ…
花蝶がいなくて
よかった！…っ
スーズーン…

ゴゴ

お前のクロノメイへの
復学は延期になる
この貳號艇も
クロノメイ区画に入り次第
戦闘態勢に入る

え？

死傷者の状況は
まだ確認出来ていない
だが敵はかなりの数を
投入して来ているようだから
覚悟はしておくべきだろう
能力者に襲われてるって
どんくらいの…
被害とか…中のヤツら
どうしてんの…？

羊から俺の指示が行くまで
大人しくしていろ
何かあったら
羊に伝えろ
ちょっ…
お前と无は
艇で待機だ
覚悟って…

…っ！
…
マジか？
木だぜ？
十二ノ一
羊に真偽を問うか
イヤイヤ花喋君
君――
ㄱㅠㄱㅠ

こいつが…！
輪のトップ

待て!!
平門!!
どうした?
花礫?

花礫の中から
ぐるぐるした
あったかいのが
たくさん
花礫？

っ…
俺に
待機以外に
何が――

仲間が心配で
苦しいか？
戦闘に
参加したいか
花礫

したい
行きたい
けど

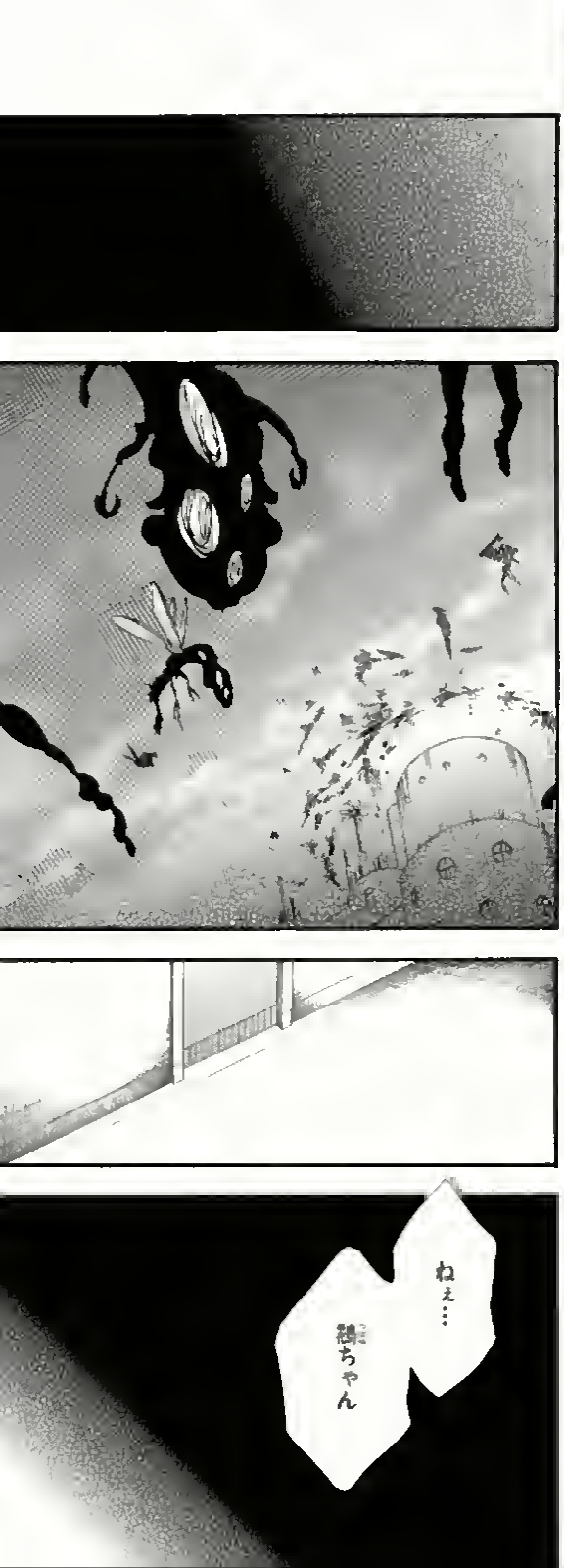
行かない

アイツら
助けてやって！
そうか…
花礫？

頼む!!

成長したな
希望どおり
火不火を凄惨に
痛めつけてきてやろう
そうだ花蝶
待機以外のお前の
役目だが…
そうだな…

ああ
俺の部屋の本棚を整頓しておけ
ハア!?
そんな雑用はテメーでしろよ!!
下手なイタズラをしないように羊を監視につけるからな
疑うんだったら頼むんじゃねえーっつの!!
クソメガネ!!!
やらねーかんな!!
ハハハ
ハハ…
さて…


お前達
艇をしっかり頼むぞ
ノエ
ノエ
ねぇ…
鵜ちゃん

先生と弟…
遅いと思うんだ
私 様子
見てくる…
……っ

もしかしたら入り口で能力者に
見つかりそうになって
急きょ別の逃げ道を
取ったのかもしれない…
うん…
そう…だよね
これ以上待ってるの
よくないよね…
弟の携帯に連絡したいけど…
もしバイブにしてなかったら
その音で隠れてるとこ
見つかっちゃうかもしれないし…

行こう！
地下の大広間に！

ごめんね これ以上猫ちゃんを
巻き込めない！

そんなに馴染んでしまっては
この艇を離れがたくなって
しまうんじゃないかい？
君はもう「輪コース」へは
戻れないというのに
！
寂しくて
悔しいだろう
共に闘いたかったん
だろう？
じゃあ クロノメイへ戻ったら
君はどのコースへ
編入希望なんだい？
ハ？
つか
なんなわけ？
答える必要
なんて…
俺は…
別に…
闘員じゃなきゃ
ここで働けねぇって
事はねえだろ
うんうん

！
ねっ…っ
姉(ねえ)ちゃん!!!

!!
つ…リノちゃん!!!

早く強くなって
みんなで卒業しようね！
能力者ァアア!!!

カーニヴァル

KARNEVAL 13

第77譜 美しき光

クロノメイへ来て
初めて出来た友達が
カシャアアン
彼女の弟を守る為に
能力者の前に飛び出し

リノちゃん!!!
血を流した
能力者(ヴァルガ)ァアア
ァアアアア
さ
せる
かあっ!!!

アア!!!
ヒシャ
アッ
ね…
姉ちゃんっ…
姉ちゃん!?

弟くん!!
リノちゃんを連れて逃げて!!
早く!!!
逃げ方 先生に聞いてるよね!?
私はリノちゃんと同じ輪コースだから大丈夫!!
お願い…

答える必要とか…
トップってもっとジジィかと…
技術創造コースで
メカをやって…
ほう！
それはいい考えだね！
輪は高い技術力によって
支えられているから
技士は不可欠だ
もともと自分が得意とする
方向を選択する事は結果を出す
安全かつ最短の道でもある
自分の適性を分かっている
とても良い選択だね！
――ところで
花楪君

リノちゃんを助けて…
お願い!!!
っ…
すみません!!! っ…
グッフッフッ…
威勢のいい小娘だな
引き離さなきゃ…

リノちゃん達から

地下への
入り口から

ボコボコ

ボコボコ

どう練り込んで
やろうかな

き…

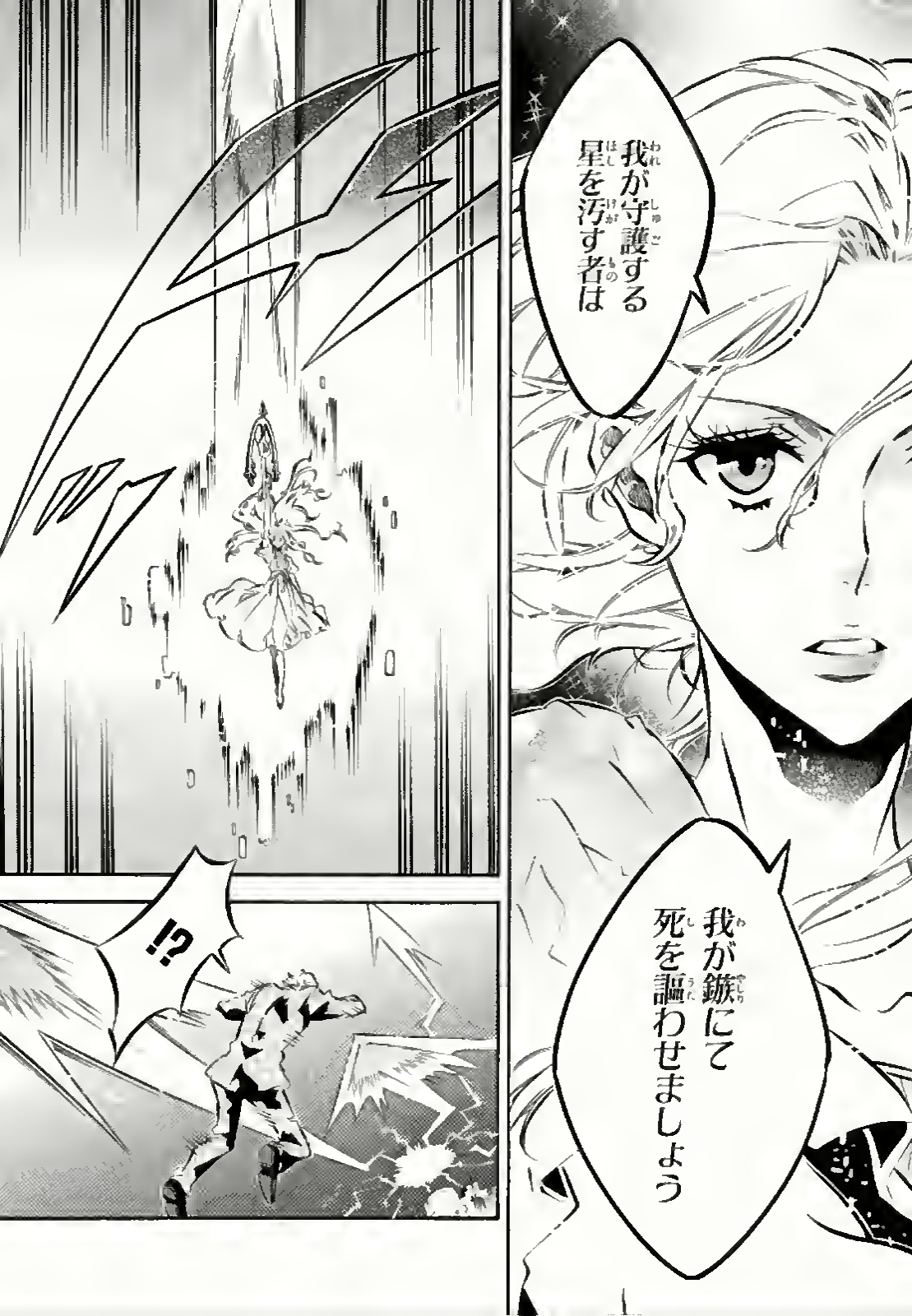
きゃあああ！
気持ち悪い!!
助けてっ…
グッフフ…
ついて来る
こわくなんかない
グフフ
こわくない
憎い
グフ
憎い!!

ぁあ!?
生徒共が
見あたんねぇ!?

そりゃどっか
隠してんだろうよ
教師引きちぎって
吐かせろよ!!
頭食っちまったら
喋れねぇだろうが
バカが!!
手足から食って
絶叫させろ!!
あんま時間食って
輪に来られたら
面倒くせぇな
全員下へ降ろして
生徒をさっさと見付けるか
!?
なんっ

ドドドドド
!!
光の矢!?
輪か!?
どっから
来やがった!…

カチャ…
国家防衛機関「輪」
第壱號艇所属
「クロノメイ専従」
リシアナ

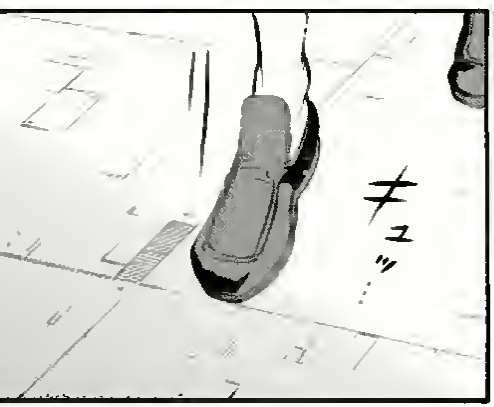

我が守護する
星を汚す者は
我が鏃にて
死を謳わせましょう
!?

ゴゴゴゴ
現在のクロノメイの状況は？
情報入ってる？
ええ
リシアナさんが戦闘に出たと
そう！…少しほっとするわね
クロノメイの門番！
彼女の力は強力ですが
溜めに時間がかかりますからね…
死傷者は？…

その選択
平凡だな とは
思わないかい？
!?
…平凡？
そうだ！
无君という友人の存在を選び
自分の進路を捨てるという
リスクを冒した後だ
無意識に安全圏を
選ぶのは分かる
——だが

教員が3名死亡
行方不明5名

皆がんばってくれたんだわ
リシアナが立つまで生徒たちの盾になってくれた


チュッ…

生徒は2名死亡

花礫君…
花礫くん!!
悪ィ
話し中…
大丈夫…?
え?
何が?

鴉ちゃんや友達の事
心配して
来たんでしょ!?
いや
お前らが現場に着けば
心配じゃねーよ
キョト
へ?
頼む
助けてやって

うん!!
必ず!!!

信頼された俺たち
信頼された
ホワ
ホワ
ヤダーちょっと大丈夫!? あの子!
あんなしおらしい事言うなんて 相当まいってんじゃないのぉ!?
角の取れた花磯君なんてただの砂ですよ
うわ…軽蔑されないだろうな

いける!!
リシアナさんの力が続くうちに
このまま一気に能力者を殲滅するぞ!!

初出・月刊コミックZERO-SUM平成25年12月号～平成26年4月号

カーニヴァル13　おわり

カニヴァル
CARNIVAL

KARNEVAL 13

番外編 講師の大事なもの

君はまだ
とても若い
星の数ほど
失敗をして
恥と怒りと
努力を学び
驕る事のない真の
自分の価値を手に入れる
そういうリスクを冒す適性を
君は持っているのだが
気付いて
いるかい？
？
…どういう意味…
「捨て駒」だけが
冒せる
リスクの
話だ

聞き捨てならない会話ですね
平門…
我々生徒も常に大きな可能性を秘めて日々先生のご講義を拝聴し成長しているのですが
燭先生にとっては
我々生徒の未来より酵素が大事だと仰るんですか…？

そうだ！
貴様らの未来など
たかが知れている！
興味などなし！
勝手に歩んで
行きたまえ!!
……
そうですか では
勝手に学ばせて
いただきます。
先日の講義内容について
ご質問させて
いただきたいのですが
平門お前 また〜た燭ちゃん
質問攻めにして泣かしたって？
泣くかバカ者が!!
教師に質問して
何が悪いんだ
朔
お前さ〜 なーんか
ストレス溜まってんならさ〜
まあ燭ちゃんすげー
おもしれーけど

俺とスリル
味わってみねえ？
…スリル？
この学園クロノメイから脱走を謀るとは何事じゃ――!!!
ザワッ
うわっと…
だからその
クロノメイの外壁のさ～「監視アイ」がどんだけすげーのか試してみたくてさ～
ふぁあ
だって壁よじ登っただけで未遂だったし～
だからと言って実行する阿呆はお前違くらいじゃ馬鹿者めが!! コースの資格を失いたいか!!

いやーでもやっぱすごいね
「監視アイ」！
イケるかな～と思ったんだけど
す～ぐ見つかっちまって！
警報鳴るわ 警備さんに
まわり囲まれるわ…
感心じゃなく
反省をしろ!!
燭先生 今日は
もうお帰りですか？
ああ 香りたい
現場があってな
平門と朔!?
何やってるの!?
おっ
リシアナ♪
この後 俺と
お茶でもしない？
イヤよ！
何したの？
輪コースに恥かかせ
ないでよね？
すみません先生 実は…
朔は俺をかばっていまして…
本当に学園を抜け出そうと
したのは俺なんです
へ？
平門

燭先生からお伺いした
「マセラ竜貝」という生物の話が
とても興味深く！

そのサンプル採取の為に
ティパ海へ向かうというお話を
聞き どうしても俺もその現場へ
行きたくなりまして…！

燭先生が…！

どうしてもご同行したいという
俺に「クロノメイを抜け出せたら
連れていってやる」と仰り
もちろん冗談だと
分かっておりましたが俺は
先生をとても尊敬しており——

!?

うおわ
大ウソを

は!?
なっ…

燭講師

あまり軽はずみな事を生徒に
言うのは困りものですな
平門は成績優秀な期待された
生徒ですので何かあってからでは…

私は何も
言っていない！

このっ…
平門——っ!!

クックッ…

面白い

一体――
どういうつもりだ!!
なぜ私に不快な態度ばかり取る!?
一度聞きたいと思っていた

いい機会だ
平門
答えろ
――…
これは…驚いた
!?

こちらに興味を
お持ちなんですね…？
燭先生は我々生徒に
微塵の興味もないのかと…
その通りだ
でも今「思っていた」と
仰った…
考えてくださっていた
という事ですよね？
不愉快な分子として
目に付いているという事だ
――質問に答えろ
平門

なぜ
私に
つっかかる
……
どうしたら
そんなに…
神々しく
あれるのかと。
ぶはっ
は？…
神々しい!?
吹いちまったぜ

怖れるものなど
何もない

強い光源のようで

どのような
条件と環境が揃えば
そうあれるのかと

とても興味深く
学ばせていただいています

ですが ちょっと眩しすぎて
周りがよく見えて
いらっしゃらないご様子

…

オイ
平門…
オイ

おーい

光の数だけ
影も多く生まれますので
気をつけた方が
よろしいかと
よく見て
それと
俺はこのまま行けば
先の未来 立場と力を
手に入れるでしょう
「そういう人間は
手懐けておこう」くらいの
保身をされた方が
よろしいのでは？
…じゃ

！
捨て駒――
家族を持たず
なんの立場もない
君の行動は「信用」を
失うには十分だった
たとえば
政府の官僚が君の事を聞けば
別にどうなっても
構わない人材だと判断するだろう
貳號艇の拾い子で
ありながら
輪コースの資格も
君は失った

答えましたので
俺はこれで失礼します

バタン

…

えっと
なんつーか
平門はさ――

あんにゃろ…

えっと…

私を能天気だと
馬鹿にしている
という事で
合っているな？

ゴゴゴ…

いやっ
アイツはただ
燭ちゃんを面白がって
遊んでるだけで…

朔イイイ!!!

ちょっ…
俺はなんも
言ってねーだろ
燭ちゃんっ…

ストーップ!!

番外編　おわり

初出：月刊コミックZERO-SUM平成25年11月号、描き下ろし

KARNEVAL 13

カーニヴァル
KARNEVAL

カーニヴァル

喰くんの怖い話が本当に怖かったんだよ～～
ゆーれーがお化けがギャッてわってグワッてね
ブルル～～
ガル
あり得ない話に興俗がやたらビビってたんでちょっとからかう程度のつもりつうかきまぐれで…
うっ…
なんか頭ん中で声が…

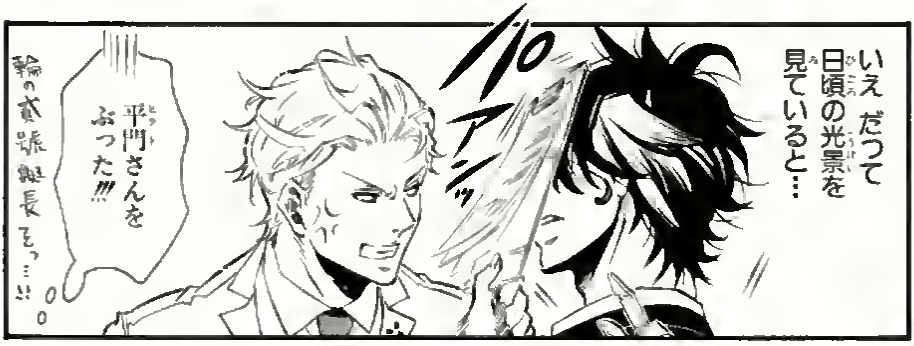
ぐわらっ
!!
この男の体はもらった…
幽霊に取り憑かれたフリ
次はお前に取り憑いてやろうか…
泣いて逃げそ…

っ…!!
花っ…!!
ん?
花隈くんから出てけ!!
おおお前なんて怖くないぞ!!
今すぐ出ず行かないといろんな罰をお前に…
あ—分かった出てく出てく
花隈興俗なにしてるの?
今すぐ助けるからねっ!
もう助かってるから
ほんと何してんだ俺…
仕事スイッチ入れてんじゃねえよ
引っこみがつかなくなんだろこっちがよ…

きゃはははっ
ツクモ先輩そのかっこ
なんですかあっっ
なんの役ですかあ？
キイチちゃん

パレードに出るので
小さな子が喜ぶカッコを
しようと思って…
どう？
似合ってますけどお～
キイチだったら
ぜったい着ないです～っ
そもそも壱組にはそんな衣装
ありませんし～
弐組はかわいそうですねえ!!

先輩ちょっと後ろの鏡で
見てくださいですぅ
自分の姿!!
おもしろいですよぅっ
うん…
分かった
ぎゃっ
ガガガ…
ドシンッ
ドシンッ
天罰だなって
思いました。
ねー
ニャンピローナ



奴らとの友好関係は皆無だ。証明するので14巻へ来い。 by燭

13巻を読んでくださりありがとうございました！
楽しんでいただけたらいいなあと思っております。
この単行本と同時期にドラマCDカーニヴァル「再会」も発売しています。アニメ後も変わらず続編を出して頂けているドラマCD、こんなに続けてこられたのはずっと聞いてくださっている皆さんが支えてくださっているからなのだと強く感じています。ありがとうございます。

最近バンダイさんからガシャポンでカーニヴァルのスイングキーホルダーを出して頂けました。
漫画家になる前、フィギュアにとてもハマっている時期があり、姉と一緒にフィギュアイベントにいろいろ行っていました。
バンダイさんのスイングシリーズも夢中で集めていたのですが
そんなあこがれのグッズに自分の作品がなる…！なんだこの感動…！とふわふわしました。ガシャポンケースの中のブックレットとかもう幸せです。ブックレットはなくさず保存です。
私も早くガシャポン回しに行きたいです！

御巫 林也

Special Thanks

- かなちゃん さん
  モリさん、すあまさん
- 担当 阿部さん
- 一迅社の皆様
- お世話になっている
  関係者&関係会社の皆様
- お世話になっている先生方
  &テンちゃん、ジュンさん
  家族、

and
to you!!

ZERO-SUM COMICS

カーニヴァル

13

著者／御巫 桃也

発行者／杉野庸介

担当編集／阿部寛子

発行所／株式会社一迅社
〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10　成信ビル8F
電話　03-5312-6851（編集）
電話　03-5312-6150（販売）

装幀／團夢見

ISBN 978-4-7580-5905-3
©御巫桃也／一迅社2014　Printed in JAPAN

IDコミックス

●この作品はフィクションです。実際の人物・団体・事件などには関係ありません。

何？
だったら…
なんなわけ…？
信用なんて
最初からっ…
これっぽっちも
ねぇだろ!!
眼中にすらねぇんじゃね!?
輪のトップが俺の事
知ってた事すら驚きだっつの！
そりゃあ
知っているさ！
他の人間にとっては
捨て駒な君だが
僕ら輪にとっては——

拾った駒
なんだから

君は
大事な
人材だ
そんな君しか冒せない
リスクがある
だが成功すれば
君の望みにとても近い結果を
得る事が出来るだろう
チャレンジしてみる
気はないかい？

カーニヴァル
13
樹林桃也

以前からずっと
作りたいポジションがあるんだ
輪闘員と共に戦場に出て
負傷した闘員をその場で
治療出来る者
かっ
闘員の力を借りず
己の身は自分で守れる
戦闘技術を身に付けた者
「闘員医術師」という
立場の者だ

闘員医術師…？

前から研究塔に打診しているんだけどね

いつ死ぬか分からない戦場に自分の所の大事な卵は貸し出せないそうだ

それに高い医療技術と輪と共にある戦闘技術を身に付ける事は誰でも出来る簡単な事ではない

他人の数倍の努力

時間の消費

そしてそれらを行ったところで結果を出せなければ闘員医術師としての資格は与えられず

その先は不確定だ

だが もし結果を出す事が出来れば——

輪艇専従となり
艇が君の家になる
どうだい？
君が挑戦するならば

君がクロノメイで
選択すべきは
医術生命コースだ！

やあ
最近 君のビジネスは
どうだい？ パルネド
ゴポポ
ああ
商品を求める顧客 協力企業からの
契約は順調に取れているよ
それは
安心だ
ゴポポ
金はあれば
あるだけいいからね
政府の動きは
どうだい？
最近動きは
あるのかい？

ふっ…
代わり映えせぬよ
今も昔も我らが動かねば
追いかける事すら出来ぬ無能ぶりだ
まあ そう言うな
今日も僕らの事を考え囚われている
かわいい弟妹だ
己が幼くて届かなかった僕に
恋い焦がれているとも気付かずに
ズブ
ズブ…
執着で必死に追いかけて
来ているんだ
なあ
パルネド？

なんて愛らしいんだって
思わないか？

化色
うん？
私は君のようには思えないよ
邪魔者は不愉快なだけでね
ハハハハッ
ハハハッ
ハハハ
ハハ…

すまない
どれだけ歳をとっても
笑い上戸が治らなくてね

君が不機嫌な
顔をするもの
だから
ハハハッ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハハハ
ハハハッ

ハハハハハハハ
ハハハハハハハ
ハハハハハ
ヒィッヒィッ
もう20年近く
前か

政府のあの子達と
僕ら
始まりは同じ
探究心だった
だが求める先が
違ってしまっていた
インキュナへ求める
同じ欲望があるというのに
相容れない価値観
きっかけは兄弟喧嘩のような
ものだった
しかし
愛しているが故に
反発は許せないものだ
――そう

僕は必ず
分からせるつもりだよ
愛しい弟妹達に
僕らの目指す
目的地が
命の次の
ステージだとね

「07」
化色様
パルネド
皆が中で
待っている
行こう
そういえば
ああ
「08」
最近 黒白を
見かけないね
再教育中なの？
いいや
教育しなければ
役に立たぬ者など
私には
必要ないよ
ああ——
君らしい
感覚だね
あ
そうそう

その部下は

君の部下から能力者申請が来ていたようだ
名前なんだったかな

隆かな
ああそうたぶんソレ

我ら弟妹のどこを侵すんだい？

クロノメイだ

組織は弱い所から
病気にさせて
腐らせるのがいい

でかい臓器になりえる新しい細胞どもを
今のうちに壊死させる
なんでどいつも
狙わなかったのかねぇ
政府要員養成校
学園「クロノメイ」
さて…

どいつを
選(えら)ぼうか

カーニヴァル

KARNEVAL 13

第74譜 戻る場所

Kaineva
Tuna Mikanagi
2

医術生命コース…
カツ
チカッ
コッ
！
やあ！
邪魔しているよ
今帰りかい？

――平門
…統括官殿

花礫

来い

艇へいらっしゃるのでしたら
一言ご連絡いただかないと…と
いつも申し上げておりますが
まさか また部下に内緒で
供もつけず…なんて事
ありませんよね？
うっ
ギクッ
ハハッ

タッ
……
ぶはっっ
クックッ
スイッ

平門 お前!!
可愛がっている割には全然なつかれてないじゃないか!
なついてますよ?
別にかわいがってはいませんが。
呼んだら来たじゃないですか
平門!
ち、ち、
カムじゃ!!
シットタウン!
おすわり
わっ…!
兄談だ兄談!!
怒るな!
本気で怒るな!!
体から恐ろしい空気が出ているぞ!!
兄さんが悪かった!!

全く
何やってるんだ
アンタは
軽々しく
兄って言うのもヤメロ
公じゃないんだ
僕や親の身を案じなくとも
大丈夫だよ 平門
輪廻號艇長の身内と
分かった所で
それによって生じる危険から
身を守るだけの術はある
お前の弱点にもならないさ
たった二人きりの兄弟だ
たまに顔を見に来たって
いいだろう
それに——

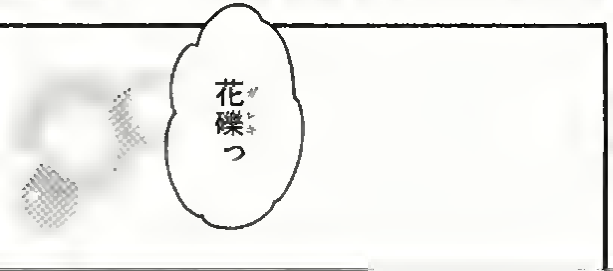
かわいい弟にこんな危険な役職に就かれてみろ！
毎日心配でたまらない!!
気持ち悪い
ふざけるのも大概にしろ
いい歳になれば男兄弟なんて他人も同然だ
大体半分しか血の繋がりがないんだ
尚更だろ
お前は昔もそんな事を言ったね
平門
だが

出会って
情が湧いた
繋がりなんて
それで十分だと
知っているだろう
ハァ…
――で

今日はなぜ
こちらに
お一人で
ん？
ああ
例の提案を花礫君に
伝えたくてね
大事な事
だろう？
艇長である私が伝えると
分かっているでしょうに
わざわざ？
ん？
ああ…
開員でもないただの
保護された少年と
話をするために
輪のトップである
国家防衛統括塔
最高技術審議官
時辰殿が
わざわざ
お一人で
出向いてくださったと
わざわざ…
分かった分かった!!
部下口調で
責めるな!!
息抜きに
遊びに来た
だけだ!!
お前は昔から
嫌味なんだ!!

あっ
花礫(ガレキ)

お帰(かえ)りなさい！


花礫(ガレキ)っ

平門さんとお話だったの？
羊さんがねっ
花礫お話してるから
遅くなるって言ってたんだ
ん！…
まあ…
メガネと
クロノメイの話…？
…
学校のお話…
お休み…
終わり…？
休み？
ああ

第73話……新しい景色
第74話……戻る場所
第75話……侵入の針
第76話……緊急事態
第77話……美しき光
番外編……講師の大事なもの

そうだった
……
俺が艇に戻る事
コイツには

クロノメイの一時休暇って
言えつつったんだった
まあ…
そろそろ？
いつまでも休んで
らんねーだろ
花喋っ
あのね俺っ
さっきずっと嘉禄と
お話してでね
心配な事が
あるんだ

嘉禄？
――何？
なんかあったわけ？
火不火の事か？
嘉禄がね
俺と嘉禄が――
知らない森に行ってね
俺が動物さんの角で怪我したとき
花礫が
俺と嘉禄を遠くから捜しに来てくれたって――
だから花礫学校お休みしたんだろうって
花礫…

そうなの？
…いや
別に…
俺、花礫
嘉禄とお艇から
消えちゃうときに
ケータイから
花礫の声がして
うれしくて 怖くて
大きな声で
花礫の事

呼んだ
だから
別にソレは
関係な…

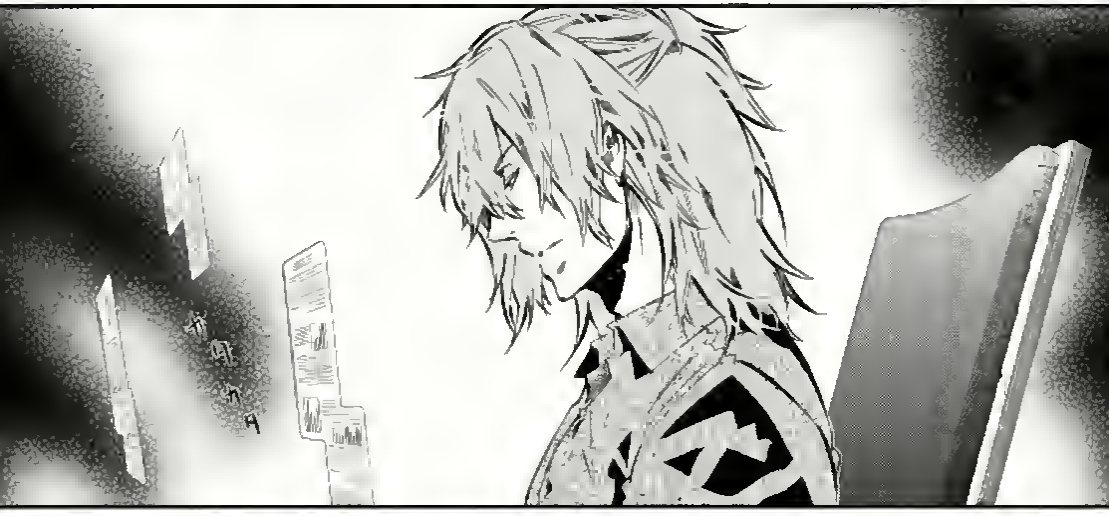
花礫
助けに来てくれた
うれしい
でも
ヒック
俺
花礫のお勉強の邪魔した
ヒック
花礫

お勉強大変なのに
俺
花磔がお艇もどって
うれしいしか思ってなかった
花磔
ごめんねっ…
だからっ…
関係ねーっ！
つってるだろ!!
つか…

お前 俺に
「助けろ」とか
言ったかよ
言ってねーだろ！
八莉のパーティーで
…與儀が
言ってただろ
「勝手に動いただけ」
ってヤツだよ
ーーー
フンッ
調子こいてんじゃねーそクソ動物！

花礫
得あった？
あったよ
俺が
得もねーのに
損な事
俺がするわけねーだろ
ぶぁ――――か!!

なんで艇に
戻りてーのか
知った



隊についての
報告？

ポン

カーニヴァル 13

御巫桃也

カチッ
…
随分と数を集め
華々しい事だが
特に興味は
湧かぬ
カタ
コンコン
黒白さん
あの
ガチャ…
荷物の準備
出来ましたけど…

車に積め
夏切
10分後に
移動する
黒白さん
あのっ
旅行ですか!?
馬鹿か。
仕事っス
よね!
!
輪とやり合うん
ですか!?
俺チョー楽しみです
輪には会わん
えっ じゃあ
どこに――

全く関係のない場所だ
黒白さん転職!?
おっ 俺と謝春！全力で走って黒白さんについて行きます!!
そうか
車でそれなりに距離もあるが いい心がけだ走れ。
えっ!?

楽しみだなぁ
クロノメイで皆どのように散ってどのように残るのか
…あ

はい
化色様
隆とやらに
アレを貸し出して
やろうかな
ねえ！
僕はね
大好きなんだよ
弟妹達が僕の
行為によって乱され
余裕が
なくなるのが
ハアッ…！

なんて
愛おしい
チュッ
あとでねー
蘭二くん！

タッ
鶫
ハア…
あのっ
もうすぐ花嫁が帰って来るって聞いてっ…！
ああ セセリから聞いたか
一週間以内での復学で予定を見ているそうだ
！

よかった!!
あ
コースは…?
輪コースに戻れる?
うーん
それについては説明
もらえなかったんだ
そっか
…でも!
帰って来るって決まって
安心した!
そうだな!
よし! じゃあ
花喋が戻ったら
寮の庭でバーベキューでも
するか!
お
バーベキュー?
俺も食う
獅示くん!
じゃあ準備は
頼んだぞ獅示!
全部!? 俺がかよ!!

あんなあ！
けっこー手続き
面倒なんだぞ!?
じゃあ私やる！
私のクラス
明日 校外演習
なの！
その手続きで
事務室行くから
一緒に提出してくるよ！
そうか？
あー悪いな
ううん！
ついでだし！
それに こういうのの
手続き自体 初めてだから
ちょっとわくわくする！

雨の心は獅示と違ってすばらしくキレイだな
オイ！
あっても何かまちがえたらゴメンネ
いいいい
それは連帯責任…イヤ
獅示の責任だ
闘二てめえなぁ!!
あ…
ありがとうございます
ありがとう…

STORY

潜伏中の黒白の家に現れたのは、かつて燭に師事していた糺だった。火不火に協力し、新たな研究を進める糺。一方、弐號艇では記憶を取り戻した嘉禄が、「謎のノート」に記されたニジ、つまり无が齎す幸運の確率についての話を燭達にしていた。また、以前ヴァントナームで出会った少年・八莉主催のパーティーへ招待された无達。久しぶりの再会に喜ぶ无達だが、その最中に突如トラブルが発生し、中止の危機に陥る。しかし、花礫達の機転により、パーティーは無事成功し、改めて友情を誓い合うのだった。その後、艇へと戻った花礫だが、羊にある場所へと連れられてしまう。そこにいたのは…!?

CHARACTERS of KARNIVAL

花礫

盗み目的で潜入した奇妙な屋敷で、无と出会う。无の捜索の為に学園を飛び出し、現在は弐號艇に乗船。

クロノメイ

帝国要員育成を目的に創られた学校。軸・管理管轄・技術開発・医術生命を専攻する4つのコースがある。

幼馴染み

花琳

花礫の幼馴染み。
かつてカラスナで弟・弧と共に住んでいたが、火不火により命を奪われる。現在は学園クロノメイに在籍。

无

生活能力は著しく低いが、卓越した聴力を持つ少年。現在は嘉禄と共に「輪」第弐號艇に身を置いている。

ニジ

无のそになったとされる動物。ニジの夢という幻獣な生態が発達した毒に生息する。

国家防衛城高機関「輪」第弐號艇

平門

「輪」第弐號艇長。
輪の身分証と思われる輪輪を持っていた丸(と花礫)を保護する。

呉葉

「輪」第弐號艇員。
明るく、人懐っこい性格。
かつて能力者の襲撃で壊滅した国「リムハッカ」の王子。

ツクモ

「輪」第弐號艇員。
クールで真面目な美少女。
最近はぬいぐるみ作りなどの裁縫を始めたらしい。

羊/ヒツジ

「輪」の防衛システム。
可愛い姿をしているが、「スゴイ機能満載」らしい。

Q.「輪(サーカス)」とは?

A.

現代でいうところの「警察」。
犯罪者を確実に検挙するために予告無く行われる「一斉捜査」での攻防は、大追力!! 一斉捜査の後は、こわい思いをさせた街の人のために楽しいショーを催す。「輪」は悪者を取り締まり、平和な街づくりのため、日夜努力を続ける明るい(?)機関である。

危険なところ…
クロノメイの生徒さんに
助けていただけるなんて
なんて幸運…
なんて偶然…
あ…
いえっ
なんて素敵な
出会い

カーニヴァル
KARNIVAL

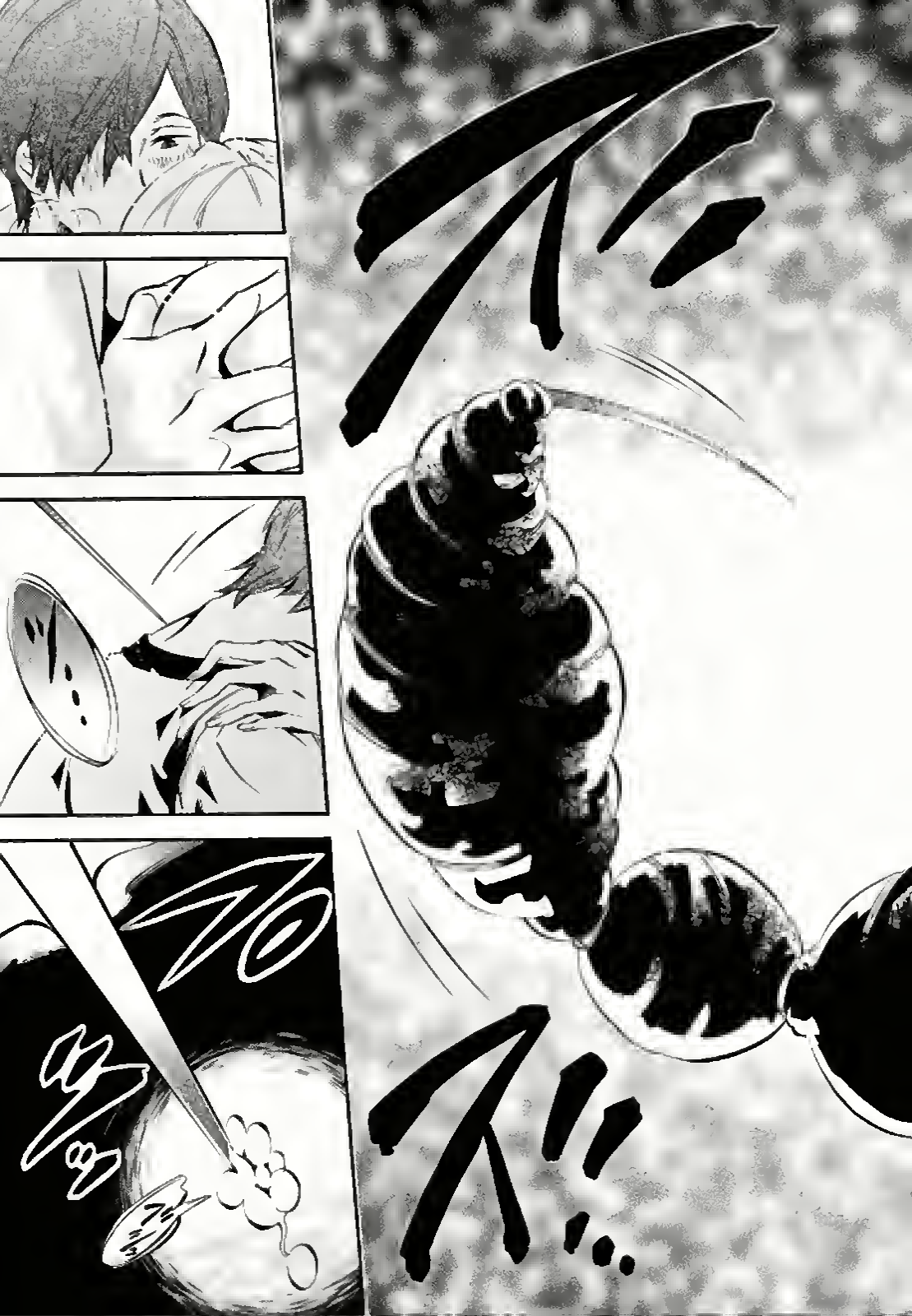
KARNEVAL 13

第75譜　侵入の針

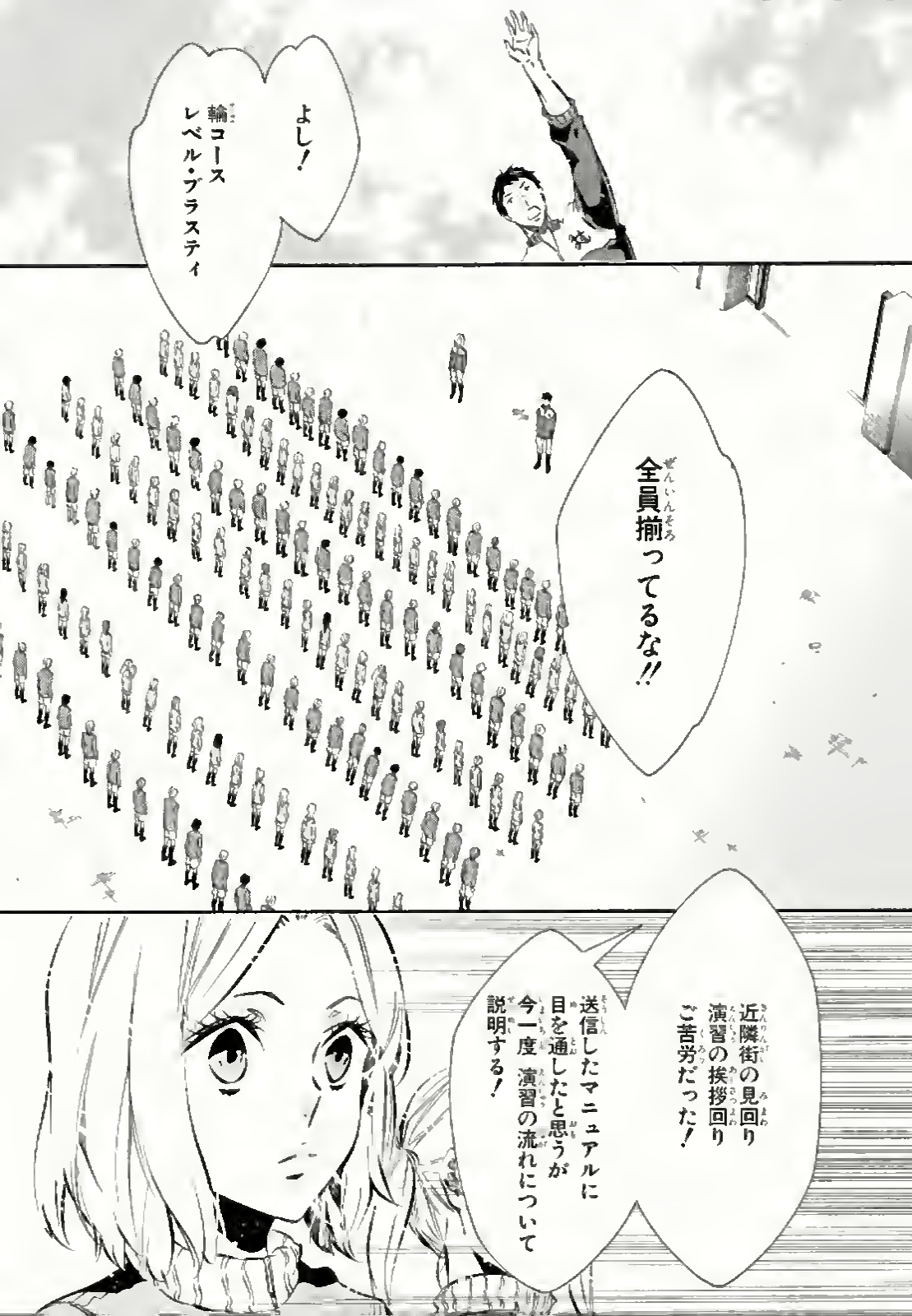
音がしたので
妹と外へ出てみたら
その野犬に襲われまして…
助けていただかなかったら
どうなっていたか…
大丈夫ですか!?
どうぞ上着を
ありがとう
あの…足が震えて…
家まで送っていただけますか?
分かりました!

わっ
じゃあ
俺達はこれで…
どうしまし…
た…
えっ
え!?
ん…

お願い
まだ怖いの
少しでいいの
慰めて——



バタン…
……
……
おい！
時間がヤバイ
早く集合地
行くぞ！
あ…
うん
野犬出たって
センセに報告
入れないとな…
！
野犬くらい
いーだろ 言うな！
報告したら
あの女達に
聞き取りが入るかも
だろ！
そしたらお前——
校外演習の近隣街見回り中に
俺達が女と——
絶対
ヤバイだろ！
黙ってろ！


よし！
輪コース
レベル・プラスティ
全員揃ってるな!!
近隣街の見回り
演習の挨拶回り
ご苦労だった！
送信したマニュアルに
目を通したと思うが
今一度 演習の流れについて
説明する！

第73譜　新しい景色

この区画は過疎化した街を
政府が買い取り
クロノメイの演習場とした
ゴーストタウンである！

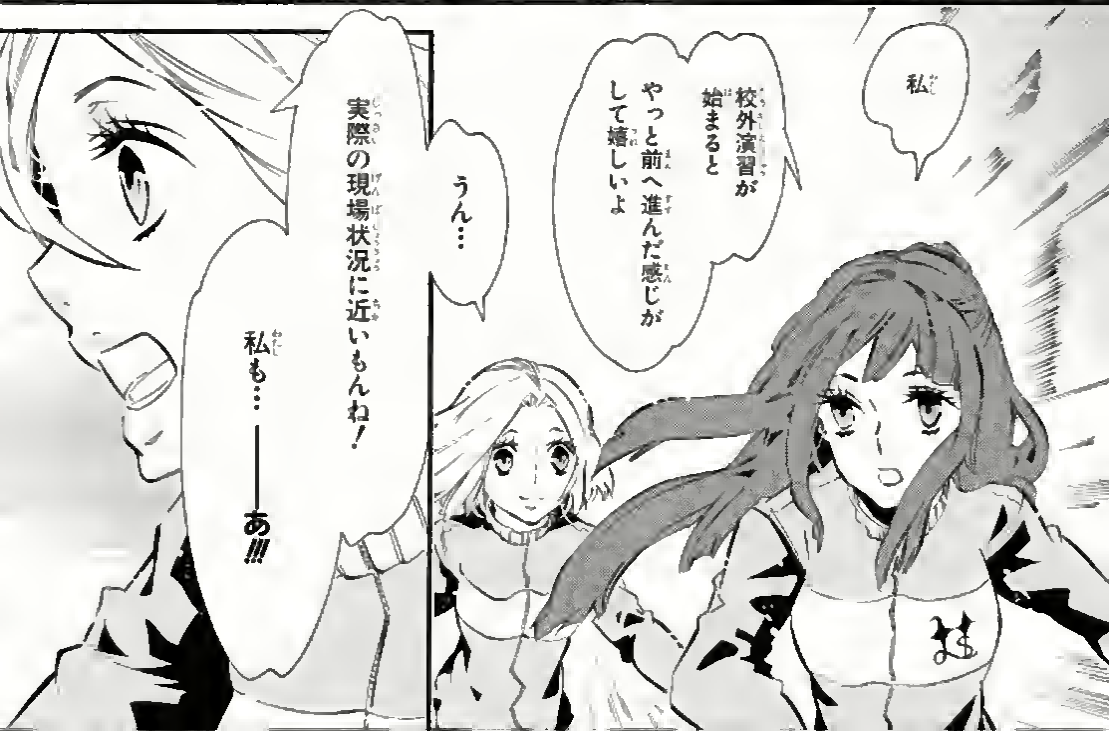
区画内には能力者の擬態機が
放たれる！
擬態機は住民役のA班を
追うようにセットされているので
鬼役のB班はそれを阻止！

45分で終了　15分休憩
その後にA・B班の
役割をチェンジ！

双方の
心境になり
街中での動きを
身に付けろ！
それでは全員――

区画内へ移動!!

緊張するね～猫ちゃん!
そうだね!


私
校外演習が始まるとやっと前へ進んだ感じがして嬉しいよ
うん…
実際の現場状況に近いもんね!
私も…——あ!!!

擬態機(ヴァルヴヨク)いた!!
早(はや)く強(つよ)くなって
みんなで卒業(そつぎょう)しようね!
うん!!

ゴウン
ゴウン
よ〜し！
花礫くんのお二ユ—制服
手配完了っと！

お疲れ様 與儀
ツクモちゃん！
メルメライの蔵の町で
花喋くんの制服
やぶけちゃってたからね
明日 寮に届けておいて
くれるって！
これで花喋くん 心新たに
勉強がんばれ…る……
さびしい。
ジワ…
えっ？
だってさ
せっかくまた皆で遊べてるのに
花喋くんがクロノメイに
戻っちゃうなんて…
與儀…

や
俺だって分かってるよ？
俺のわがままだし！
花磔くんの夢なんだから
こんな事思っちゃいけないって
でもさ…
また会えなくなって
ほとんど話せなくなるかと思うと…
興儀
大丈夫よ
メールだってあるのだし
だって…
花磔くんほとんど
返事くれないし
,,,,
え？ そうなの？
え？

あ…
私 あの…
あまりメールを送らないし…
だから
もともと数が少ないから
花磔君の返信ペースにたまたま合ってるだけで
フォオオオ
花磔くん!!!
ん…
ヒドイ!!
ひどいよ!!
そ…
ギッ
ラ…

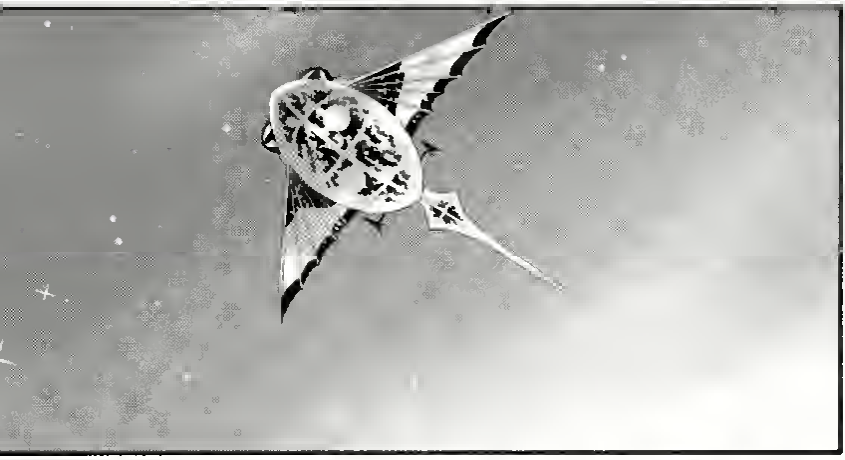
ヤシソッ
なんで俺にだけメール雑なの――!!?
うわ!!?
なっ…
ハッ?
ツクモちゃんや无ちゃんには毎回ちゃんと返事してるのに俺だけ～～～～っ
仲間外れ…?
ぐすっ
ぐす
オイ

もう長文にならないように気を付けてるし
一日一通にしてるのに！…
多い
返すのめんどい。
電気消して行けよ
もう寝てんだよ…
うるさかった
兎儀っ？
兎儀あのね
俺 毎日
兎儀からくるメール
うれしいよ！
ツクモちゃんもねっ
兎儀からのメール
にこにこしてるよ！
无ちゃん…

あとね！興儀のメール
絵がたくさん付いてて
楽しいよ！
俺
大好き！
絵文字と
アイコンのこと…？
あ…
そうだ!!
俺りりこと思い付いたよ
无ちゃん！
いいこと？

……
誰
…何
アンタ
おお！
ピュアな反応だ
いいなあ！
君と話をして
みたかったんだよ
花礫君
…俺？
つかアンタ
どういう…
怖がんなくて
大丈夫だよ

ニャンペローナのね！
手紙にスタンプ押すみたいな
メッセージ付きアイコン作るの！
NYANPEROWNA
わあ！すごい！
それ一つメールに貼れば文章書かなくても簡単に気持ち伝えられるから
Fight!!
クロノメイで勉強する花嶺くんにも負担にならないよね！
うん！楽しい！
よ〜し！作ったらみんなで使おうね!!
グッモーニャ☆ペローナ
おやすみ☆
Happy



じゃあまた明日授業でな
おー　おやすみ
おやすみー

あれ？
お前もう寝てたの？
なんか…気分悪くて…

あ…ああ
メリ…
メリ…

風邪？
薬飲んどけよ

クス…
クスクス…
ミ…
ミ…
ブギ…

ん…

ヒヒヒ
チカ
チカ
モゾ…

ムク

ヒヒヒ
ヒヒヒ

もしもし…？
セセリ
どうした？

え？
こんな早朝に
システム様に近付く生徒がいる？

分かった！
ガ…
確認してこよう
ガ
ガガ
ガガ
ガ
ふっ
ふっふっ
ふう
あ…

早く

早く！

我ら兄弟となったお前の存在は
既に気付かれた

あ

あ

すぐに追手が
お前を殺しに
来るぞ

早く

さあ

クロノメイの
防御(シールド)を
ぶち壊(こわ)せ!!
ドン
!?

な…
何(なに)？…
…？

この一瞬を
待ってたんだよ
さあ――

時辰って名前…
クロノメイの授業で聞いた
輪の
――名前と…
じゃあ
こいつ…？
コッ